



【発信日】令和6年2月6日

【問合わせ先】

大野市教育委員会事務局

生涯学習・文化財保護課 担当 佐々木、田中

電話 0779-65-5590 内線 75-204

「おおの遺産」に新たに2件を追加

～令和5年度認証書交付式を開催～

令和5年度結の故郷伝統文化「おおの遺産」に認証する伝統文化が決定いたしました。今年度は2団体に、結の故郷伝統文化認証書を交付します。

つきましては、認証書交付式を開催いたしますので、当日の取材をお願いいたします。

記

- 1 日 時 2月15日(木) 午前9時30分から午前10時00分まで
- 2 場 所 学びの里「めいりん」洋室(中)
- 3 交付式次第
 - ・教育長あいさつ
 - ・認証書交付
 - ・講評(伝統文化認証審査会 門井直哉委員長(福井大学教育学部教授))
- 4 おおの遺産 第24号 鉛筆供養(えんぴつくよう)
第25号 阿難祖八坂神社の祭礼(あどそやさかじんじゃのさいれい)
詳細は別紙のとおりです。
- 5 「おおの遺産」認証の目的
大野市の各地区等に伝わる伝統芸能、祭礼、風習、伝説など、次世代に継承することが必要な伝統文化を結の故郷伝統文化「おおの遺産」として認証することにより、市民共有の貴重な文化遺産として認識し、伝承や保存に対する市民の意識向上を図ります。

令和5年度 結の故郷伝統文化「おおの遺産」認証一覧

認証番号	分野	団体・代表者名	名称	由来・特色
24	年中行事	中荒井町1丁目区 区長 中谷嘉宏	鉛筆供養	地区の左義長に合わせ、使い古した鉛筆を供養することで子どもの学力向上などを祈願する行事。 子どもの代表者が行事の中心的役割を担っており、子どもらは自身が地区の一員であることを強く認識できる。
25	年中行事	阿難祖領家区 区長 佐子重夫 阿難祖地頭方区 区長 玉木仁一郎	阿難祖八坂神社の祭礼	阿難祖領家区・阿難祖地頭方区の境に建つ八坂神社の祭礼を、両区が1年交代で担当している。 鎌倉時代以前には両区は合わせて「阿難祖村」だったが、「下地中分」*によって分割されたと考えられることから、分割以前の両区の間を留めていると思われる。

※下地中分（したじちゅうぶん）とは

荘園主は中央（京都や奈良）に在住していたため、地頭を派遣して荘園の管理を委ねていたが、次第に地頭が力を持つようになると、荘園管理をめぐり両者の関係に軋轢が生じ始め、年貢の徴収に支障をきたすようになった。

その解決方法として、荘園主が荘園（下地）を分割（中分）して地頭に与えて領主として認めることで、地頭に与えた土地（地頭方）とともに、荘園主側に残した土地（領家）の維持管理や年貢米徴収の安定化を図った土地の管理方法。

鎌倉時代中期から南北朝時代までに、西日本に多く見られた。

(参考) これまでに認証を受けた「おおの遺産」

認証 番号	認証日	分野	名 称	団体等名
1	H29.3.27	生活	七間朝市	大野市朝市出荷組合
2	H29.3.27	伝統芸能	蕨生 里神楽	里神楽実行委員会
3	H29.3.27	伝統芸能	篠座神社の里神楽・豊栄舞	篠座神社獅子舞保存会
4	H29.3.27	伝統芸能	木本領家里神楽	木本領家区
5	H29.3.27	年中行事	木本区初午だんご撒き	木本区
6	H29.3.27	年中行事	篠座神社の福もちまき	篠座神社総代会
7	H29.3.27	年中行事	篠座町の旧家が持ち回る神明講	篠座神社と篠座町（旧家23軒）
8	H29.3.27	年中行事	上大納左義長	上大納区
9	H29.3.27	年中行事	尾永見伊勢講	尾永見神社
10	H29.3.27	年中行事	鍬掛伊勢講	鍬掛伊勢講保存会
11	H29.3.27	景観	行人岩	大矢戸区
12	H30.3.22	年中行事	伊勢講	土布子区
13	H30.3.22	年中行事	下打波白山神社・中神神社の祭礼	下打波区
14	H30.3.22	伝統芸能	稲郷里神楽	稲郷青年会
15	H31.3.14	年中行事	陽明町一丁目1区の不動明王祭	陽明町一丁目1区
16	H31.3.14	年中行事	明倫町1区による乳地藏のご祈祷	明倫町1区
17	R2.3.23	生業	穴馬紙	穴馬紙大すきの会
18	R2.3.23	伝統芸能	奥越太鼓	奥越太鼓保存会
19	R3.2.28	生業	アジメ漁	奥越漁業協同組合「アジメ漁」保存研究会
20	R4.2.24	年中行事	お箸始め	川合区
21	R4.2.24	年中行事	深井の講	深井区
22	R4.12.9	年中行事	新四国八十八ヶ所お砂踏み法要	大宝寺
23	R4.12.9	年中行事	水神さんの参詣	小矢戸区